

芸術家と出会う学校での芸術活動が各地で充実したもの

「文化芸術による子供の育成事業」は、文化庁からの委託事業として4年が経過した。9月5日から始まり、2月5日に終了するまで、76校で芸術家によるワークショップという形で実施した。29市2町1村の小学校71校、中学校1校、特別支援学校4校の内訳になる。参加した児童・生徒数は3,488人になった。講師や実技披露に関わった芸術家は50人、学校と芸術家をつなぎ、ワークショップのより良い条件づくりのための調整役「千葉県子ども文化地域コーディネーター」は30人。子ども劇場千葉県センターが委託事業で実施した学校数は平成27年度39校、平成28年度70校、平成29年度70校、平成30年度76校、合計のべ255校となる。

プロの芸術家のステージと同じ実演により、子どもたちの目が輝き、「さあ、こんなふうにやってみましょう」では恐る恐る表現し、90分後には意欲や積極性が全開する姿に、担任が子どもの可能性を再認識するほどになった。

千葉県では「千葉県文化芸術の振興に関する条例」が10月19日に施行され、「教育における文化芸術活動の充実」に期待したい。市原市では「伝統芸能普及事業(歌舞伎)」が文化振興財団の事業として独自にとりくまれるようになっている。

落語

講師：春風亭正太郎 柳亭市弥 古今亭始 柳家緑太
三遊亭わん丈 柳家圭花 入船亭遊京 伊藤輝(落語協会)

9月5日(水)	市川市立二俣小	4年生	46人
9月12日(水)	八千代市立勝田台南小	4年生	62人
9月18日(月)	成田市立新山小	4年生	35人
9月20日(木)	君津市立八重原小	4年生	54人
10月3日(金)	千葉市立高洲第三小	4年生	70人
10月10日(水)	佐倉市立白銀小	6年生	42人
10月11日(木)	印西市立平賀小	4・5年生	34人
10月15日(火)	香取市立北佐原小	4～6年生	45人
11月7日(水)	四街道市立旭小	4年生	31人
11月20日(火)	九十九町立九十九里小	4・5年生	57人
12月3日(月)	習志野市立秋津小	4年生	38人
12月10日(月)	千葉市立千城台北小	4年生	27人
1月29日(火)	市原市立若宮小	4年生	41人

◆プログラム

・落語の解説・てぬぐいと扇子の使い方・落語の実演「牛ほめ」「初天神」「桃太郎」「転失気」「まんじゅうこわい」「たぬきの釜」「もと犬」から・高座で演じる体験・質問



- * 久しぶりに大笑いした。
- * びっくりしたけど、だんだん楽しくなった。1人が何人ものやくをするだけと思っていた、本物が目の前でやるとおもしろくなった
- * 落語がこんなにおもしろいとは思わなかった。
- * 子どもたちは、講師の見事なしぐさに拍手！笑顔・笑顔・笑顔…ワクワクしている姿や集中している姿が見えた。
- * 目を丸くして、天井を見上げて、前後に左右にからだを揺らし、隣の子と顔を見合わせて、まわりを見回しながら、おかしすぎて手で顔を隠したりしていた。
- * オープンスクールで話し方、仕草を工夫して覚えた落語を発表した。
- * 落語家さんの真似をしたり、自分で考えた小話を友達に話したりと、盛り上がっていました。

アフリカの太鼓

講師：BBモフラン ダウディ 典子

9月20日(木)	館山市立豊房小	4～6年生	39人
9月26日(水)	鎌ヶ谷市立北部小	4年生	60人
9月27日(木)	勝浦市立総野小	5・6年生	22人
9月28日(金)	柏市立花野井小	6年生	41人
10月9日(火)	旭市立豊畑小	3・4年生	60人
10月12日(金)	市原市立加茂小	4～6年生	49人
10月16日(火)	船橋市立芝山東小	3年生	46人
10月17日(水)	千葉市立高浜第一小	5年生	43人
10月19日(金)	船橋市立芝山西小	6年生	39人
10月23日(火)	県立船橋特別支援学校	1～4・6年生	75人
10月29日(月)	県立船橋夏見特別支援学校	中高生	77人
10月30日(火)	市原市立菊間小	4年生	51人
11月7日(水)	富里市立根本名小	6年生	45人
12月7日(金)	市原市立若葉小	4年生	48人
12月14日(金)	南房総市立富山小	6年生	44人
12月19日(水)	県立柏特別支援学校	小・中学部	123人
12月20日(木)	県立習志野特別支援学校	1～6年生	35人

◆プログラム

・歌と演奏による講師紹介
・楽器紹介
・アフリカのこぼれ
・パーカッション、ダンスとリズムあそび体験



- * 人生でこんなにたのしんだのがひさしぶり。もっとやりたい。
- * ちがう国の音楽をきいてみて顔が笑顔になって心に花がさいたみたいで楽しかった。
- * 始めは自分達とはちがってびっくりしたけど、とってもやさしくて、明るくて楽しかった。
- * みんなでダンスをしたり、歌ったり、楽器をやってみたりして楽しかった。
- * 初めて触れるアフリカの太鼓に目がキラキラしていた。
- * 緊張している様子も見られたが太鼓の音に緊張感もほぐれ、どの子も積極的にワークショップに集中していた。
- * 太鼓を実際にたたいたり、ダンスを踊ったりすることにより、体全体で音楽を楽しむことの楽しさを知ることができた。

クラウン

講師: ブッチー びり
大森ちづえ (蒼い企画)

9月18日(火)	野田市立東部小	1年生	46人
10月18日(木)	旭市立中和小	3~5年生	56人
11月14日(金)	四街道市立山梨小	3・4年生	43人
12月3日(月)	習志野市立袖ヶ浦東小	2年生	48人
12月11日(火)	東金市立丘山小	1~6年生	62人
12月12日(水)	浦安市立浦安小	2年生	46人



◆プログラム

- ・クラウンショー披露
- ・バルーンアート体験

- * こわかったふうせんがワークショップをやってこわなくなってきた。
- * とてもおもしろく、気持ちが明るくなった。
- * 会話のリアクションもよく、作品作りにも意欲的に参加できていた
- * 約90分間が、短く感じるほど集中していた。
- * 自分で作ってみたいという興味、関心が高まった。
- * 失敗したことでもプラス思考に思えるようになった

歌舞伎

講師: 早瀬栄之丞 玉浦有之祐
松浦海之介 和田優樹 (前進座)

11月28日(水)	富里市立浩養小	5・6年生	24人
11月30日(金)	東金市立福岡小	5・6年生	42人
12月4日(火)	市川市立北方小	6年生	35人
12月7日(金)	野田市立二ツ塚小	6年生	54人
12月11日(火)	千葉市立若松台小	6年生	24人
12月17日(月)	長生村立高根小	6年生	42人



◆プログラム

- ・歌舞伎の解説と実演
- ・たちまわりと附けの体験と発表

- * 家庭に帰り、歌舞伎で学んだ知識を楽しく伝え型を兄弟と一緒にやったり、みせたりした。
- * 歌舞伎や落語などの日本文化に対する興味・関心が高まった
- * 目を輝かせて、身を乗り出すようにして動きを見て、話を聞いていた。
- * 前に出てやる時はきんちょうしたけれどかっこよくできた。
- * 歌舞伎ははくりよくがあり、とてもかっこよかった。
- * トキドキしたけどじっさいやってみてとても笑って楽しかった。
- * 立ち回りの型がとてもきれいだった。素直で、まじめで一所懸命さが伝わってきた。
- * 歌舞伎役者の声量、声の通り具合に圧倒されていた。

狂言

講師: 大藏教義 宮本昇 上田圭輔
(大蔵流吉次郎狂言会)

10月10日(水)	佐倉市立下志津小	6年生	46人
11月2日(金)	四街道市立みそら小	6年生	42人
11月27日(火)	いすみ市立長者小	5・6年生	69人
11月30日(金)	大多喜町立西小	4~6年生	38人
12月14日(金)	成田市立神宮寺小	5・6年生	28人
1月11日(金)	君津市立秋元小	1~6年生	46人
1月11日(金)	君津市立三島小	1~6年生	38人
1月29日(火)	市原市立鶴舞小	4~6年生	44人



◆プログラム

- ・狂言の解説
- ・「柿山伏」披露
- ・登場人物クイズ
- ・発声、構え、装束試着体験
- ・質問

- * 心から笑うことができた。日本の文化をもっと学びたい。
- * すごくおもしろくて人前にたって、どうどうといってみたかった。
- * 声のはくりよくがすごくて、こわいときもあった。
- * 役者の解説など普通の声との違いにビックリしていた。
- * 講師の言葉に次こそはと前のめりになり、素直に反応していた。
- * 擬態語や合いの手言葉、動作などしばらく教室でブームになった。
- * 教科書や画面からのものより、目の前で繰り広げられる方が伝わるものだ。

ミュージカル

講師: 藤森裕美 米谷美穂 中山圭 宮田佳奈
鈴木彩子 堀内俊哉 福岡美里 (イツフォーリーズ)

10月12日(金)	市原市立有秋西小	3年生	54人
11月7日(水)	匝瑳市立共興小	4~6年生	47人
11月28日(水)	習志野市立袖ヶ浦西小	6年生	31人
12月12日(水)	大網白里市立大網東小	5年生	43人
12月14日(金)	香取市立八都小	4~6年生	48人



◆プログラム

- ・講師自己紹介
- ・ミュージカル披露
- ・グループでお題を表現
- ・「手のひらを太陽に」うたう
- ・グループワーク、発表

- * たのしくて、わたしもみんなの前でえんぎをする、しょうらいのゆめがみつかった。
- * 思いっきりやる勇気もらった。
- * 「あ〜たのしい！」と紅潮した顔、すっかり心も体も解放されている姿があった。
- * 少人数で話し合い、自分の意見や考えを表現し、表現する手段を持つことができた。
- * 自分の役割を与えられ、自分、表現を引き出すことができた。
- * クラスの力がまとまった。
- * あまり学校に来ることができない児童も来ることができ、クラスみんなと参加することができた。

現代舞踊・ダンス

講師：安西真幸 安西千紗

12月11日(火)	銚子市立本城小	5・6年生	65人
2月5日(火)	市原市立市東第一小	1～4年生	67人



◆プログラム

- ・ウォーミングアップ
- ・表現
- ・講師による実演
- ・グループワーク
- ・発表

- *アクションシーンを友達と考えてやるのがとても楽しかった。
- *もっと自分を表現しておどったりし、なにごとにもちようせんする
- *前屈にワァー、つま先立ちにオー、ひとつひとつの動作に大騒ぎ
- *ダンスを苦手としている児童の抵抗感が和らいだ。
- *表現活動や音楽に合わせたリズムダンス的な動きの練習に子どもたちは魅了され達成感を味わった。

バレエ

講師：尾本安代 中武啓吾 吉田邑那
山口緋奈子（谷桃子バレエ団）

10月12日(金)	旭市立飯岡小	5・6年生	77人
-----------	--------	-------	-----

◆プログラム

- ・バレエの解説
- ・「白鳥の湖 第2幕から」実演
- ・ストレッチ
- ・レッスン体験
- ・質問



- * バレエは言葉を使わなくても体で表現して伝えていることがわかった。
- * 「白鳥のみずうみ」がとてもすてきですごかった。
- * 男の人のバレエは、見たことがなかったのでみれてよかった。
- * 講師たちのステップに「すげーえ！」ストレッチのときには痛ーいという声、休憩中もV字バランスにチャレンジしている子もいた。

朗読

講師：半田晶子 石田庸子 松本伊代
（まちあーと・夢虫）

10月18日(木)	茂原市立二宮小	5・6年生	37人
-----------	---------	-------	-----

◆プログラム

- ・ウォーミングアップ
- ・「きょうはみんなでクマがりだ」群読体験
- ・グループワーク、発表 ・朗読実演



歌唱

講師：あらたに葉子 ぴんたろう
上村純（リーフ企画）

10月12日(金)	佐倉市立内郷小	4・5年生	57人
1月19日(土)	東金市立源小	1～6年生	28人



◆プログラム

- ・講師
- ・楽器紹介
- ・ミニコンサート
- ・「翼をください」「WAになっておどろう」からワークショップ
- ・全員で歌おう

- * なにより楽しく歌うことがいいんだとあらためて感じた。好きな歌、好きな楽器をたくさんみつけた。
- * 友達とちがう時があつてはずかしかった時があつたけれど、これからは自分なりに歌いたい。
- * 楽器に触れることもでき、子どもたちは満足していた。
- * 低学年の嬉しそうにリズムにのって歌うすがたは本当に心から喜んで表情豊かに音楽を楽しんでいた。
- * 「音楽は自分らしく」「楽器がしゃべっている様だった」等、普段聞くことのできない感想を話していた。
- * 乗っていないような高学年の子どもたちも実は楽しく踊りや歌をがんばっていた。

人形工作

講師：永野むつみ 大澤直
（人形劇団ひばりぼたあむ）

10月4日(木)	市川市立国府台小	院内学級 4～6年生	7人
12月4日(火)	八千代市立八千代中	特別支援学級	18人



◆プログラム

- ・3分間人形劇披露
- ・さまざまな材料、道具を使って「だれもみたことのない生きものをつくろう」制作体験・発表

- * いろんなざいりょうがある中で見たことのないどうぐがあつたりしたのでたのしかった。
- * 物づくりがだいすきなのでうれしかった。
- * 「抜群の集中力」を今回も見せてくれた。
- * 椅子に座ろうとせず、立ちっぱなしでした。
- * 作る意欲が見られた。
- * 前向きに活動でき、た
- * 作品の発表会では、作品に表れている生徒の思いや工夫などを聞くことができ、お互いに認めあうことができた。

- * 詩の発表がとてもきんちょうした。
- * こんなに大きな声で詩を読んだのは初めてだった、動きをつけて大きな声で「たんぼぼ」を読めて、とても楽しかった。
- * 講師の促しとそれに応える数人の子どもたちによつての相乗効果で、どんどん良くなつていった。
- * 見ている子どもたちも、真剣に受けとめていた。
- * 恥ずかしさを忘れ、懸命に取り組んでいた。いつもより元気な姿が見られた。

音楽

講師：松本雅隆（ロバの音楽座）

9月25日(火)	茂原市立西小	3年生	37人
9月28日(金)	旭市立琴田小	5・6年生	55人
11月26日(月)	富津市立竹岡小	1～6年生	43人



◆プログラム

- ・耳をすませて音を聞く
- ・バグパイプ披露
- ・新聞紙合奏
- ・ブンパカパッパ楽器づくりと合奏体験

- *きょうみみたいな日があつてよかった。
- *音楽を聞いてすごいとりはだかたちました。みんなで音楽をつくることも楽しかった。
- *新聞紙でいい風の音を作るとき気持ちを一つにしていた。風を想像しながらいい顔をしていた。
- *オリジナル楽器を制作したことで、音楽の自由な感覚や可能性を知ることができ、いろいろな音を確かめようとしていた。
- *笛づくりでは目がキラキラ。互いに教えながら作り上げた。
- *吹き方を教えている子もいた。

パントマイム

講師：チカパン(パントマイムプラネット)

11月5日(月)	富津市立天神山小	1～6年生	41人
11月20日(水)	成田市立橋賀台小	6年生	31人
11月28日(水)	印西市立牧の原小	3年生	48人
12月6日(木)	匝瑳市立豊栄小	6年生	21人



◆プログラム

- ・パントマイムショー披露
- ・パントマイム体験
- ・グループで作品づくり・発表

- *パントマイムが不思議だった。
- *こういうのが1ヶ月に1回あったらいい。
- *発表の時は、自分でもできた！と思った。
- *講師の話熱心に聞き、とても楽しそうだった。
- *作品の完成に向けて、チームで協力し合い、精一杯表現する姿が見られた。
- *相手への伝え方を考えるようになった。
- *パントマイムは人を笑顔にできる素敵なものだったと子どもたちが話してくれた。
- *6年生を送る会で発表したい。
- *ワークでグループのきずなが強まった。

演劇表現

講師：大潤弘幸 岡本圭(劇団風の子)

11月27日(火)	流山市立八木南小	3年生	30人
12月20日(木)	市原市立寺谷小	1～6年生	92人
1月31日(木)	市川市立福栄小	3年生	53人



◆プログラム

- ・コミュニケーションゲーム
- ・グループワーク
- ・表現あそび

- *おうまくんがおもしろくてわらわせてくれたから、えがおになった。
- *さい後「もう終わっちゃっのか」と思った
- *最高でした！トントンパが一番楽しかった。休み時間に友達とやってみます。
- *最初から子どもたちと大潤さんがうちとけていた。素直に動いて心を開いてとてもたのしそだった。
- *当日欠席していた友だちにも遊びを教えてみんなで遊んでいる。
- *遊び方をアレンジして楽しんでいる。

和太鼓

講師：太田雅人 小坂駿登 中代和紗

10月26日(金)	船橋立高根台第二小	4年生	55人
11月16日(金)	八千代市立南高津小	5年生	25人
11月26日(月)	銚子市立椎柴小	5・6年生	26人



◆プログラム

- ・和太鼓の解説と実演
- ・「三宅木遣太鼓」で打ち方、3人の打合せ体験

- *太こをうつのが前よりも好きになった。
- *はく力があって、体の中がすぐふるえたのが今までなかった
- *2時間授業じゃなくて、6時間やりたい！
- *心臓にズシーンと響く太鼓の音に緊張感もほぐれ、どの子も積極的にワークショップに集中していた。
- *太鼓が身近な楽器になった。
- *気持ちが乗って、一人が背中を太鼓に当てて身体で振動を感じてみたり、「しびれるー」「なんかこわい」気持ちを言葉にするようになってきた。
- *様々な叩き方やパフォーマンスを教わりたいし、公演を見に行きたいと言っている子がほとんどだった。
- *休み時間に音楽室に集まり、学校の太鼓を自由に叩いている。
- *3月の送る会で、何かできたらいいなと考えている。

特徴的だった 学校でのうけとめと、授業での子どもたちの様子 を報告します！

想像力・読解力・表現力がたかまった！

文化庁芸術家派遣事業 君津市立八重原小学校 落語 4年生 54人



ワークショップ実施前の学習として、CDで落語を聞いたが、子どもたちは落ちの面白さがわからなかった。そこで、教科書で学習し、好きな場面の落語を暗記したことで内容理解が深まり表現の仕方にも興味をもったが、みんなの前で発表をしても自信がなさそうだった。

ワークショップも大丈夫かな、笑わないかもしれないと心配したくらい。ところが落語家の表現に児童は大爆笑だった。心の底から笑っていた。落ちのおもしろさを楽しみと体で感じていた。実施後にもみんなで発表をしたら、演じる者に「よっ！待ってました。」等の掛け声を自然に掛けて場を盛り上げるなど、雰囲気全然違った。演じる側も、掛け声に気分が上がり、役になりきって演じていた。また、お話会や素読の時間にも想像力を働かせて読むことに繋がった。

国語では登場人物のセリフを想像するなど、理解力、表現力が高まった。

国語だけでなく、いろいろな場面で子どもの雰囲気が変わった。

誰かが話すときには「待ってました」という盛り上げの雰囲気でも聞くようになった。英語の時間にも、今では「Answer please」と、のりのりになってきた。とにかく雰囲気が変わった。相手を盛り上げたり、相手の反応を楽しんだり、前向きな様子が見られるようになった。算数では、文章問題でもイメージを膨らませて考えるようになった。レクや校外学習でも前に立つ実行委員だけががんばるのではなく、一緒に盛り上げる雰囲気が出てきた。

教師自身も、子どもと一緒に授業を作る大切さに、改めて気付いた。落語は笑いながら想像を働かせたり、表現力を高めたりできる。アートが心を動かし、コミュニケーションの楽しみ、やる気を起こしたといえる。

(フォローアップのヒヤリングにて 文責：宇野)

安心した環境とパフォーマーの力で、子どもたちが思いっきりはじけた！

文化庁芸術家派遣事業 千葉県立柏特別支援学校(今年度4つの校特別支援学校で実施)

アフリカの太鼓 小1から中3まで123人



実施当日を迎えるまで、先生方は、移動や席の作り方の工夫、ジャンベをたたく学年の順番、出入りのルートなど、初めてのことや変化に緊張する子が多いことなどを話し合い心配事を取り除いた。繊細で苦手な事のある子どもたちが負担少なく、気持ち落ち着いていろいろな体験を楽しめるよう、援助の仕方、子どもの活躍の仕方などもたくさんの対応を考えた。当日3・4年生が作成した色鮮やかで大きなお迎えプレートが会場を飾っていた。

ジャンベの演奏が始まると普段は大きな音が苦手で耳をふさぐ児童がリズムに合わせて満面の笑みで手拍子を打ちダンスをしたり、「イエーイ！」「ヨォォーッ！」とあちこちで声もあがった。時折立ち上がってジャンプをし、気持ちを落ち着かせてまた席に戻り、楽しそうにリズムにのる生徒や、耳を押さえじーっとしながらもチラリと隣の先生に微笑みかけたり、思いつき手足で床を叩いてリズムをとる児童など、自分が楽しく心地よく受け止められる形でアフリカの音楽を楽しんでいた。

自閉度の高い生徒が楽しさ満開でジャンベをたたいているのを見て、「あの子があんなににこにこしているのは珍しいんです。楽しそうですねーっ！」と嬉しそうにつぶやく先生の姿もあった。

一つの太鼓を取り囲みみんなでたたいて大喜びで盛り上がる。難しい子は先生が手にとって一緒にたたきとにっこり嬉しそう。全員ジャンベ体験ができ、最後のダンスはみんなで飛び跳ね、あっという間に1時間半が過ぎた。

打ち合わせの際、障がいのある子どもたちとプロの芸術家との経験のない出会いへの不安が、先生から出された。それを講師がしっかりと受け止め「安心して任せてください」の言葉で不安が和らいだ。前向きにいろいろな工夫がされたことが、当日子どもたちが安心できる楽しい時間に繋がった。

各々の子どもの心の中に正解があるワークショップの持つ意味の凄さを、体育館から帰る子どもたちの晴れ晴れとした表情が教えてくれた。

(文責：滝口)